

前号の紹介

JICE REPORT 第38号

表紙 | 自然災害からの復興

表紙は、国土地理院が令和元年6月よりWEB地図の情報として提供している自然災害伝承碑の分布を表している（全国で703基令和2年12月16日時点）。自然災害伝承碑は地震だけでなく、河川の氾濫、火山や雪崩といった全ての自然災害を網羅している。日本は自然災害の多い国であり、有識者によればもっと多くの碑が存在していると指摘されている。碑には当時の被災状況などが記載されており、当時の被災場所に建てられていることが多いため、過去の災害を知る貴重な手がかりである。

巨大津波による甚大な被害をもたらした東日本大震災から10年を経て、復旧・復興とともに、被災の実情、災害による教訓を伝承するフェーズに入った。

東日本大震災の教訓を整理し、伝承するため、震災遺構や祈念碑などを「震災伝承施設」として登録（240施設 令和2年12月時点）し、それらを有機的に繋ぐ「3.11 伝承ロード」の構築によって、東北で得た教訓を国内外へ、また後世へ伝えていく取組が進められている。

東日本大震災の教訓を活かし、自然災害伝承碑などを手がかりとして、自らの地域の災害履歴・教訓を把握し、地域住民の防災意識の向上を図るなど、防災意識社会への構築を進めていく取組が求められている。



コンテンツ

年頭所感：新年に思う

特集

津波対策における二段防災とその展開

高知工科大学 学長 / 磯部 雅彦 氏

南海トラフ地震や気候変動を踏まえた 津波・高潮の防災・減災対策の取組に関する一考

災害や老朽化への「備え」を考慮した広域道路ネットワークの整備と今後の展望について

今から始める防災まちづくり ～要配慮者の暮らしを守る～

施工体制の確保のための処方箋 ～東日本大震災以降の国土交通省における主な取り組み～

国土政策研究所 講演会

温故知新で知彼知己者百戦不殆を實踐し転禍為福を實現

名古屋大学 減災連携研究センター長 / 福和 伸夫 氏

調査・研究報告

令和2年7月豪雨災害調査報告

品質管理を踏まえた監督・検査の効率化に向けて ～工事書類の簡素化と遠隔臨場の取組み～

事業紹介・事業報告

第34回 技術研究発表会の報告

国土技術開発賞

建設技術審査証明事業の更なる活用促進に向けて

※バックナンバーは JICE のホームページからご覧になれます <http://www.jice.or.jp/>